



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長

(氏名) 榎本 実

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成28年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,614	△7.4	△79	—	△141	—	△442	—
27年3月期第3四半期	17,946	△8.6	△306	—	△354	—	△513	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △434百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△15.66	—
27年3月期第3四半期	△18.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	27,879	6,513	23.4
27年3月期	29,467	6,969	23.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,513百万円 27年3月期 6,969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△2.7	500	3.3	400	△7.0	200	—	7.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 日本ヒューチャア株式会社  
(注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更につきましては、P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	28,300,000 株	27年3月期	28,300,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	51,162 株	27年3月期	49,862 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	28,249,118 株	27年3月期3Q	28,251,148 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00
第2種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

- (参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。  
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000 \text{円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。  
ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第2種優先株式配当金} = 1,000 \text{円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.25\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

## 添付資料の目次

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明 . . . . . P. 2
- (2) 財政状態に関する説明 . . . . . P. 3
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 . . . . . P. 3

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 . . . . . P. 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 . . . . . P. 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 . . . . . P. 3

## 3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 . . . . . P. 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 . . . . . P. 6
- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 . . . . . P. 8
  - (継続企業の前提に関する注記) . . . . . P. 8
  - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) . . . . . P. 8
  - (セグメント情報等) . . . . . P. 8

## 4. 補足情報

- (1) 受注高及び受注残高 . . . . . P. 9
- (2) 売上高 . . . . . P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費者マインドの持ち直しや雇用状況に改善の動きが見られたものの、民間設備投資が伸び悩み、中国を中心とした新興国の成長鈍化などにより不透明な状況で推移しました。

このような事業環境において当第3四半期における連結業績は、民需事業は増加したものの情報システムが減少したことから、売上高が前年同期比13億32百万円減少の166億14百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

損益に関しましては、79百万円の営業損失となりましたが、民需事業の売上増加や費用削減等により前年同期と比較して2億27百万円と大幅に改善しております。また、経常損失は2億12百万円改善の1億41百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常損失に特別損失37百万円、法人税率の引下げ等による繰延税金資産の取崩しを含む法人税等2億63百万円を計上したことから、前年同期と比較して70百万円改善したものの4億42百万円の損失となりました。

### セグメント別の状況

#### 情報システム

情報システムは、売上高がプロジェクトの減少により前年同期と比較して15億64百万円減少の95億75百万円(14.0%減)となりました。

損益に関しましては、売上高が減少したことから前年同期と比較して1億12百万円悪化の1億35百万円のセグメント利益となりました。

#### 電子機器

電子機器は、計測事業の事業譲渡による減収はあったものの、接合機器がスマートフォン等の情報端末向け電子部品の今後の生産増に向けた設備投資増加により、好調に推移したことから、売上高は前年同期と比較して2億94百万円増加の48億3百万円(6.5%増)となりました。

損益に関しましては、売上高の増加、赤外線機器での原価低減及び費用の削減等により大幅に改善し、前年同期と比較して3億76百万円改善の49百万円のセグメント利益となりました。

#### プリント配線板

プリント配線板は、売上高は宇宙・防衛用が低調だったことから前年同期と比較して62百万円減少の22億36百万円(2.7%減)となりました。

損益に関しましては、売上高の減少及び高原価率製品が増加したことから前年同期と比較して36百万円悪化の2億65百万円のセグメント損失となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億87百万円減少し、278億79百万円となりました。これは主にたな卸資産が3億95百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が14億83百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億31百万円減少し、213億66百万円となりました。これは主に賞与引当金が3億49百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少し、65億13百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失4億42百万円を計上したためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月27日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

なお、当社グループの売上高は、季節的変動によって下期に偏ることから、通期の業績予想に対し第3四半期連結累計期間までの売上高並びに利益の割合が低くなっております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました日本ヒューチャア株式会社は、平成27年4月1日付で当社が吸収合併したため、第1四半期連結累計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

なお、この変更に伴う四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,254	2,042
受取手形及び売掛金	12,743	11,259
たな卸資産	4,034	4,429
その他	849	704
貸倒引当金	△6	△2
流動資産合計	19,875	18,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,497	1,410
土地	4,004	4,004
その他(純額)	786	635
有形固定資産合計	6,287	6,050
無形固定資産		
	389	315
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,832	2,046
その他	1,153	1,104
貸倒引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	2,914	3,079
固定資産合計	9,592	9,445
資産合計	29,467	27,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,208	4,037
短期借入金	3,772	5,075
未払法人税等	106	5
賞与引当金	769	419
工事損失引当金	-	3
製品保証引当金	56	64
その他	2,184	1,849
流動負債合計	11,097	11,455
固定負債		
長期借入金	4,874	3,540
再評価に係る繰延税金負債	1,050	1,050
退職給付に係る負債	5,450	5,295
その他	24	24
固定負債合計	11,399	9,910
負債合計	22,497	21,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	750	750
利益剰余金	△2,634	△3,099
自己株式	△12	△13
株主資本合計	3,997	3,533
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	2,197	2,197
為替換算調整勘定	9	9
退職給付に係る調整累計額	765	773
その他の包括利益累計額合計	2,972	2,980
純資産合計	6,969	6,513
負債純資産合計	29,467	27,879



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,946	16,614
売上原価	14,479	13,110
売上総利益	3,467	3,504
販売費及び一般管理費	3,774	3,583
営業損失(△)	△306	△79
営業外収益		
為替差益	21	7
受取手数料	5	4
技術指導料	3	5
受取補償金	15	-
その他	9	2
営業外収益合計	55	20
営業外費用		
支払利息	82	72
その他	21	9
営業外費用合計	103	82
経常損失(△)	△354	△141
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	15	-
事務所移転費用	-	13
事業構造改善費用	-	22
製品補修関連損失	48	-
特別損失合計	63	37
税金等調整前四半期純損失(△)	△417	△178
法人税等	95	263
四半期純損失(△)	△513	△442
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△513	△442

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△513	△442
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	477	8
その他の包括利益合計	476	8
四半期包括利益	△36	△434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36	△434
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期累計(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,139	4,508	2,298	17,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	11,139	4,508	2,298	17,946
セグメント利益 (営業利益)	248	△326	△228	△306

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,575	4,803	2,236	16,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	9,575	4,803	2,236	16,614
セグメント利益 (営業利益)	135	49	△265	△79

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 4. 補足情報

## (1) 受注高及び受注残高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成27年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成28年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成27年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	7,691	6,240	8,312	5,521	12,273	6,783
電子機器	5,621	1,672	4,730	1,033	7,792	1,106
プリント配線板	2,482	873	2,136	777	3,448	877
合計	15,795	8,786	15,179	7,332	23,515	8,767

## (2) 売上高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成27年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成28年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成27年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	11,139	62.1%	9,575	57.6%	15,179	59.1%
電子機器	4,508	25.1%	4,803	28.9%	7,245	28.2%
プリント配線板	2,298	12.8%	2,236	13.5%	3,260	12.7%
合計	17,946	100%	16,614	100%	25,685	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成27年3月期 第3四半期累計	当四半期 平成28年3月期 第3四半期累計	(参考) 平成27年3月期
	海外売上高	海外売上高	海外売上高
情報システム	83	5	83
電子機器	1,793	2,044	2,736
プリント配線板	188	186	273
合計	2,065	2,235	3,093
海外売上高の連結 売上高に占める割合	11.5%	13.5%	12.0%